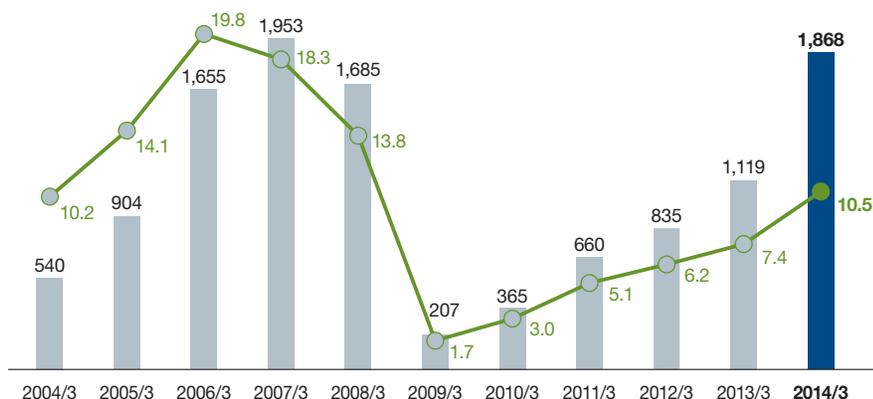


## 2014年3月期 財務ハイライト

■ 当社株主に帰属する当期純利益(億円) ● ROE(%)



当期純利益は前期比 **67%増**

ROEは前期比3.1ポイント増の **10.5%**

金融危機で世界の金融機関の多くが赤字に転じる中で、2009年3月期も黒字を維持し、その後も5期連続で2ケタ増益を遂げています。「金融+サービス」の加速化戦略の進捗とともにROEが着実に上昇し、目標とする10%を当期に2年前倒しで達成しました。

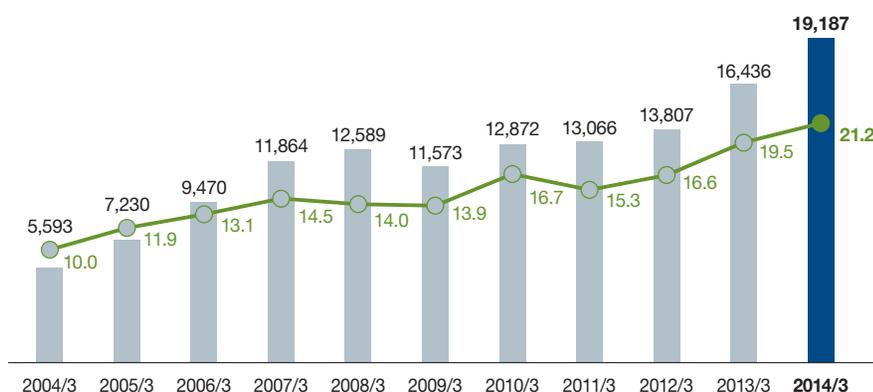
■ 総資産(億円) ● ROA(%)



ROAは前期比 **0.8ポイント増の2.13%**

総資産はゆるやかに拡大しています。良質な資産への入れ替えと専門性を生かしたフィービジネスの強化を進めた結果、ROAは着実に上昇しています。

■ 当社株主資本(億円) ● 当社株主資本比率(%)



株主資本は前期比

**2,751億円増**

着実な利益成長により、株主資本は増加し、株主資本比率も上昇しています。財務の安全性と資本効率の両方のバランスをとりながら、適切な資本政策を遂行します。

\*1 調整後長短借入債務(預金除く)、調整後D/Eレシオは、変動持分事業体(VIE)の連結に伴う特定の負債および利益剰余金への影響を控除し、調整後で表示しています。米国会計基準に準拠して計算および表示された最も直接的に比較できる財務指標の表示、および米国会計基準に準拠していない財務指標との調整表につきましては、p.73~74をご参照ください。

\*2 当社は2013年3月31日最終の株主名簿に記載された株主に対して、2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」および「1株当たり配当金」につきましては、当該株式分割を考慮し、遡及して調整しています。

■ 調整後長短借入債務(預金除く)\*1(億円) ● 調整後D/Eレシオ\*1(倍)



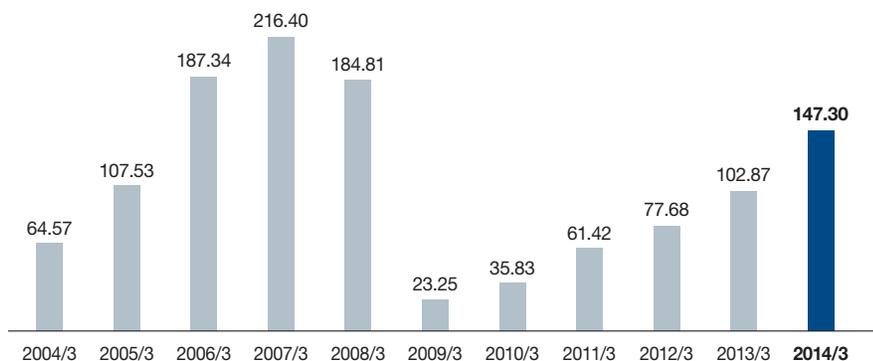
D/Eレシオは**2.0倍**と低位コントロール

金融危機以降、借入債務の圧縮により、D/Eレシオも低下してきました。当期は借入債務こそ増加に転じましたが、D/Eレシオは引き続き低い水準でコントロールしています。

調達は長期化を進めるなど、安定性向上に努めています。

## 1株当たり情報

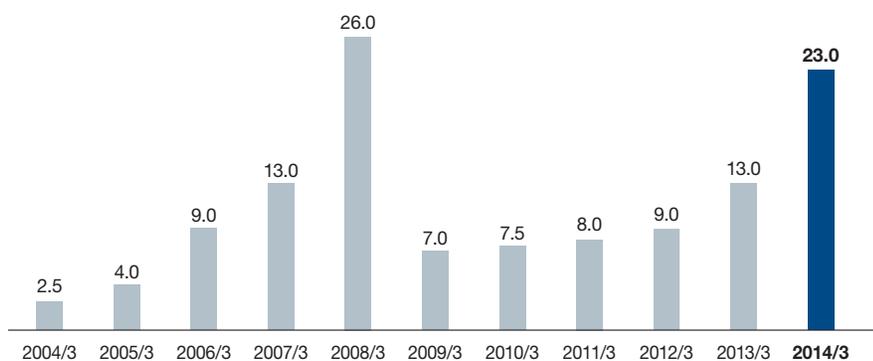
■ 1株当たり当社株主に帰属する当期純利益\*2(円)



1株当たり純利益は**43%増**

2013年3月期および当期の転換社債の転換により株式数が増加しましたが、1株当たり当期純利益は順調に増加しています。

■ 1株当たり配当金\*2(円)



1株当たり配当金は前期比

**77%増の23円**

当期は23円と前期の13円から10円の増配といたしました。今後も業績を反映した安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。